

里山を歩くみち

約12km

札所1番～札所9番



■このコースは1番から2番まではきつい上り坂ですが、3番から9番までは平坦地になっています。5番から6・7番へ向かう途中のよこっぴきと呼ばれる古道は、江戸巡礼古道の面影の残る、車が通らない土の道です。8番は飯能方面からくる巡礼の初めての札所で、「八番はじめ」といわれ、ここからお参りをはじめました。

札所1番四萬部寺

埼玉県指定文化財である秩父札所1番観音堂は、元禄10年(1697)再建・宝暦6年(1765)改修の江戸時代を代表する建造物である。おたすけ観音・元禄八重紅梅などがある。



札所3番常泉寺

札所2番真福寺

秩父札所が33ヶ所から34ヶ所になった時に増やされた札所である。

札所3番常泉寺

紫陽花の寺と呼ばれ、寺宝に「子持ち石」がある。



札所4番金昌寺

札所4番金昌寺

埼玉県指定文化財である金昌寺の石仏群は、寛政年間(1789～1800)のものが多く、1319体あるといわれている。なかでも寛政4年(1792)の慈母観音はひときわ目立つ。

札所5番諸歌堂

長興寺の境外仏堂で、本尊准胝観音は、秩父札所中ここだけである。

札所6番ト雲寺

狹野堂縁起絵巻、清涼寺式釈迦如来立像、山姥の歯などの寺宝がある。



札所6番ト雲寺

札所7番法長寺

秩父札所中一番大きな本堂は、平賀源内の原図によるとされている。

札所8番西善寺

埼玉県天然記念物である西善寺のコミネカエデは樹齢約600年といわれる。

札所9番明智寺

安産子育ての「九番の観音様」として親しまれている。女性の願いを納めた「文塚」がある。